

中央市ふるさとまつりの伝統行事

明暗寺の虚無僧行列

みょうあんじ

こむそろう

江戸時代の中央市(乙黒村)には、明暗寺というお寺

がありました。建物は、約150年前の明治時代初めに取
り壊され、現在は「史蹟 甲州乙黒明暗寺跡」の石碑が
あるのみですが、ここは甲斐国唯一の虚無僧寺でした。

虚無僧は、筒形の深編笠をかぶり、袈裟をかけ、托鉢
しながら尺八を吹き、修行をしていました。明暗寺の虚

無僧が、甲斐国の村々を托鉢や留場料(お布施)を受け
取りに訪れていたことが、古文書により伝わります。

明暗寺から、虚無僧がでかける風景は江戸時代の中
央市の日常風景でした。ふるさとまつりでは、この風景
を再現します。一緒に歩いて虚無僧の気分を味わってみ
ませんか。

一日虚無僧を募集します。



令和7年11月3日(月・文化の日)

行列コース

明暗寺跡地(乙黒669-1)へ

玉穂ふるさとふれあい広場

★通りに出て見送ってね!

日程

式典 午前11時〜「明暗寺跡地」

・読経・献奏

出発 午前11時20分

※托鉢しながら向かいます。

★一緒に歩いてみよう!

到着 午前11時45分

・尺八吹奏・ふれあいタイム

〜午後0時45分虚無僧は永源寺

(下河東880)へバス移動

読経・献奏 午後0時55分〜「本堂」

尺八演奏会 午後2時〜「本堂」

★自由に見学ができるよ!

申込み・問合せ

中央市教育委員会 生涯教育課

☎055(274)8522

